

平成 18 年度生理学研究所研究会
ゲノム生理学研究会
「DNA 構造を基盤とするゲノム生理学の展開 DNA、蛋白質、膜の相互作用」

日 時：平成 18 年 11 月 9 日（木）午後 1 時～10 日（金）正午
場 所：岡崎コンファレンスセンター小会議室
提案代表者：水田龍信（東京理科大学生命科学研究所分子生物学部門）
所内対応者：永山國昭（岡崎統合バイオサイエンスセンター・ナノ形態生理）

11 月 9 日(木)

- 13:00~13:20 **2006 年研究会の挨拶 - 核, ミトコンドリア, 葉緑体の共通モデル**
永山國昭（岡崎統合バイオサイエンスセンター）
- 13:20~13:50 **膜と DNA の破壊による細胞死の様式**
水田龍信（東京理科大学生命科学研究所分子生物学部門）
- 13:50~14:20 **細菌染色体の高次構造構築機構の解析**
大庭良介（京都大学生命科学研究科統合生命科学専攻）
- 14:20~14:50 **DNA 高次構造の自己組織化と生物活性**
吉川祐子（名古屋文理大学短期大学部食物栄養学科）
- 14:50~15:05 休憩
- 14:05~15:35 **オリゴアルギニン PEG 脂質とプラスミド DNA との複合体構造と
遺伝子発現効率**
米谷芳枝（星薬科大学医薬品化学研究所創剤構築研究室）
- 15:35~16:05 **脂質膜アセンブリーによる新規人工遺伝子デリバリーシステムの構築**
小暮健太郎（北海道大学大学院薬学研究院創剤薬理学分野）
- 16:05~16:35 **再構成させた細胞骨格との相互作用による巨大リボソームの形態形成**
滝口金吾（名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻）
- 16:35~16:50 休憩

16:50~17:20 **単一 GUV 法を用いたペプチドや DNA と脂質膜の相互作用の解析**
山崎昌一（静岡大学大学院創造科学技術研究部統合バイオサイエンス）

17:20~17:50 **Morphology of Ternary Complexes between Liposomes,
DNAs and Cations**
Vasily Kuvichkin（岡崎統合バイオサイエンスセンター）

18:15~20:15 懇親会

11月10日(金)

8:45~9:15 **反復配列を含む超らせん DNA 分子の形状と DNA 分子間相互作用の解析**
加藤幹男（大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻）

9:15~9:45 **DNA 凝集体の理論:ファンデルワールス~クーロン相互作用**
石本志高（岡山光量子科学研究所）

9:45~10:15 **ゲノム解析から得られるもの: 腎癌関連遺伝子 *kank* の生理機能解析**
木山亮一（産業技術総合研究所）

10:15~10:30 休憩

10:30~11:00 **DNA・蛋白質複合体の相互作用様式**
鳥越秀峰（東京理科大学理学部応用化学科）

11:00~11:30 **酵母ゲノムおよびミニ染色体における DNA 構造を利用したクロマチン
構造制御およびタンパク質 - DNA 相互作用の解析**
清水光弘（明星大学理工学部化学科）

11:30~12:00 **クロマチン工学の開拓**
大山 隆（早稲田大学教育総合科学学術院）

12:00~12:20 **総括**
永山國昭（岡崎統合バイオサイエンスセンター）